

市民へとつながる架け橋

大東消防署消防課 通信指令室
消防士長 岡島 樹里(平成20年入職)

仕事へのやりがい

私が消防士を目指したきっかけは、医療職に興味があり、その中でも救急救命士として働くことで患者さんや家族を安心させてあげたいと思ったからです。

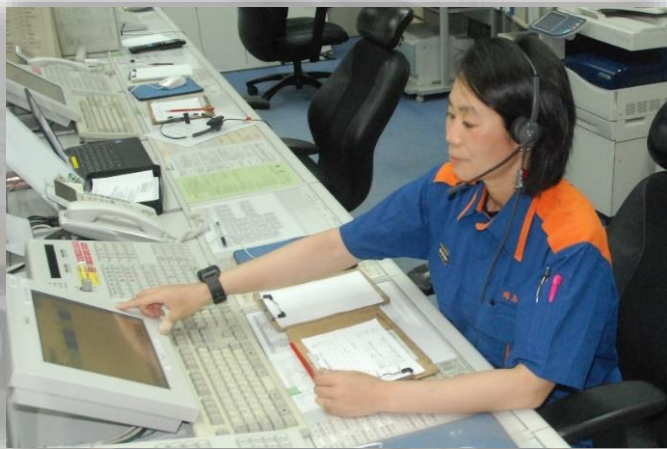
私の経歴は、救急隊への所属は2年間で、その後、長く所属していたのは警防課です。

警防課では、救急に関する事務やホームページなどを作成、そして救命講習を通じて心肺蘇生法の応急手当の普及啓発を行っていました。講習会参加者は真剣に取り組んでおり、心肺蘇生法の実技においては講習の最初と最後では見違えるほど成長しています。講習を中心に市民の方と接する機会に恵まれ、仕事へのやりがいを感じました。



通信指令員として大切な役割

現在は通信指令員として119番通報を受ける仕事をしています。これまでの業務と異なり、市民の方と会うことはありません。声だけのやりとりです。相手の声を聴いて、焦りや不安を落ち着かせるよう誘導するために、ゆっくりと話しかけたり、時には電話口で応急手当の方法を指導したり、指令を出すために必要な情報を聞き出したりします。通報者の状況も一人ひとり違うので、臨機応変な対応



を心掛けています。面と向かって話をするのではなくても、市民の方が最初に助けを
求める窓口であると同時に、怪我人は何人か、消防車に行かせるべきか、それとも救
助車か、それらは何台必要なのか、と通報を聞いて決断し、指令を出すという責任が
ある業務です。日々勉強、奮闘し通信指令員としての経験を積んでいる最中です。

チームワークのある職場

消防には様々な業務があります。
私が消防を目指した理由は救急隊員の
仕事に就くことでしたが、救急隊以外の
業務に携わることで、仕事に関して新た
な発見がありました。それは普及啓発
の大事さを知ったこと、教えることの難
しさや喜び、ホームページを作成するこ
とへの面白みなど様々です。

今となっては人生無駄な経験はないと思います。たくさんの人との出会いが私を
成長させてくれました。消防士になってから、退職まで長い年数があります。自分が
経験したことがない業務に就くこともあります。自信がない、不安だと感じるこ
とがあるはず。そんな時、先輩、後輩、同期、あなたの力になってくれる人が必ずい
ます。あなたに市民を救いたい、誰かの役に立ちたいという志があればみんなが力
になってくれます。消防という職場は1つのチームです。私もチームメイトの一人とし
て、みなさんと一緒に働ける日を待っています。

